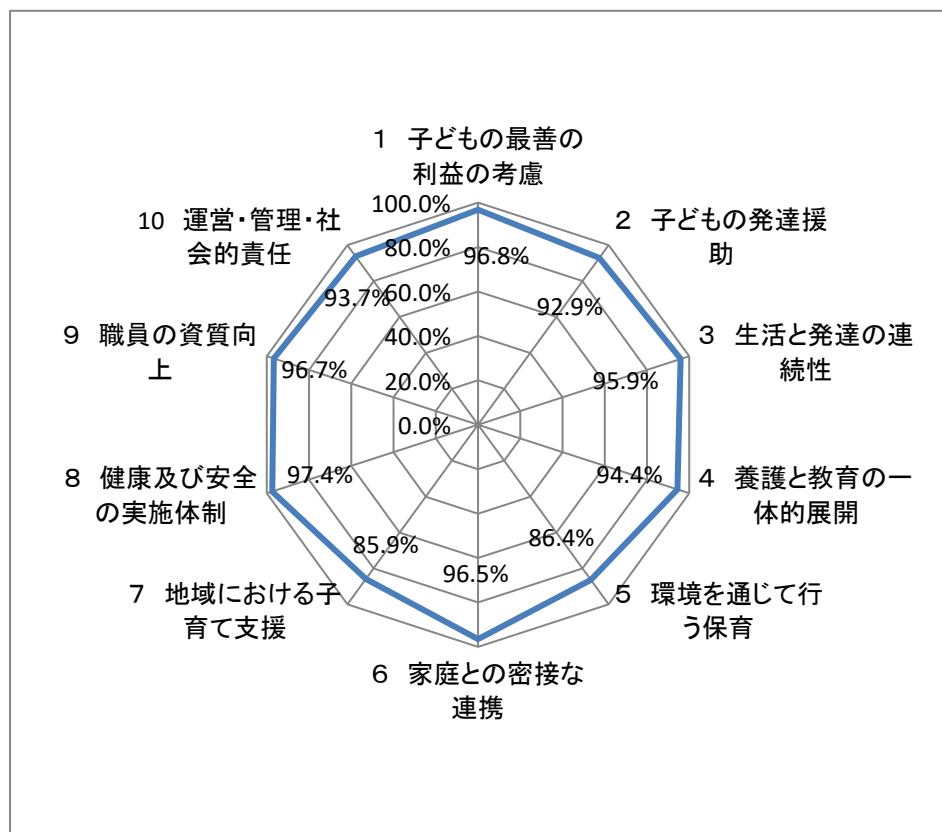


令和4年度 保育所自己評価の結果について

令和5年3月15日

ゆうゆうきッズ横浜

1 職員の自己評価（令和5年2月実施） （「十分理解している」・「理解していると」回答した割合）



2 取り組み状況

（努力した点）

- ・新型コロナウイルスへの感染防止に努めつつ、行事や日々の保育では「新しい生活様式」に保育園の見直しを加え職員だけでなく園児や保護者の協力を得て進めることができた。
- ・園内職員による「あそび・食育」各委員会活動を充実させ保育実践にいかしたが、新型コロナウイルス感染防止のため一部実施できない活動があった。
- ・リスクマネジメント委員会(安全管理・事故防止)で遊具等の安全点検や嘔吐処理、乳幼児対象の救命救急法・AED操作・熱性けいれんの対応、エピペンの使用方法などを継続的に学んだ。
- ・防災や安全な保育を目的とし「防災・保育ハンドブック」を作成した。全職員に配布し日頃の安全、安心な保育に役立っている。
- ・「地域における子育て支援」が理解している(できている)という評価は今年度85.9%と全体では低位である。新型コロナウイルス感染防止のため区の子育て支援事業、子安小学校や地域の保育園との交流ができなかったのが要因だが、創意工夫し改善していく。

（課題・改善点）

- ・家庭との密接な関係や地域における子育て支援など「子どものしあわせとお父さんお母さんの子育てを支援します」という保育理念を一層推進していけるよう努力していく。
- ・新型コロナウイルスの感染防止対策の見直しも進められているがそれらを踏まえ感染防止と保育を両立させられるように園独自の創意工夫を行い進めて行く。